

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校用)

| | |
|-------|------|
| 都道府県名 | 神奈川県 |
|-------|------|

学校の概要(平成15年4月現在)

| | | | | | | |
|-----|------------|-----|-----|------|-----|-----------|
| 学校名 | 小田原市立鴨宮中学校 | | | | | |
| 学 年 | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 特殊学級 | 計 | 教員数 35 |
| 学級数 | 6 | 6 | 6 | 2 | 20 | |
| 生徒数 | 210 | 205 | 232 | 6 | 653 | |

研究の概要

1. 研究主題

| |
|---|
| <p>「個に応じた指導・評価のあり方」 - 個に応じた指導における指導方法・指導体制の工夫</p> |
|---|

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

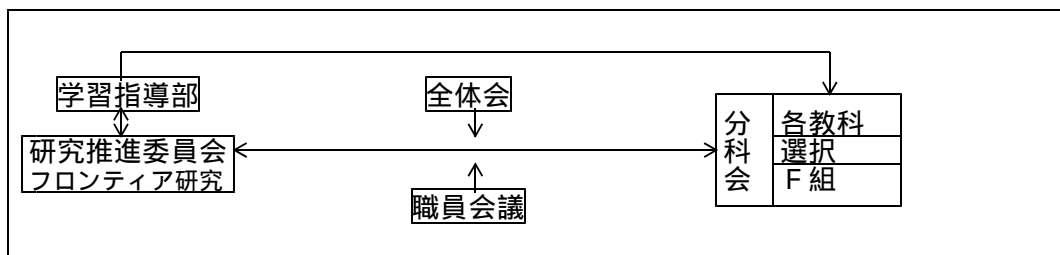
| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 1, 2, 3 年生・数学科 学校として、当該教科に関する少人数指導や T T 指導などの研究実績があるため。 ・ 3 年英語科 生徒の理解の状況に差が出やすい教科、学年であるため。 ・ 2, 3 年選択授業 少人数による編成であるため個に応じた指導を実施しやすく、学年・教科の枠を広げ、研究に取り組むため。 |
|--|

(2) 年次ごとの計画

| | |
|--------|---|
| 平成15年度 | <p>テーマ 「個に応じた指導における指導方法・指導体制の工夫」 - 基礎基本の確実な定着と学習意欲の向上を目指して</p> <p>研究の見通し 個に応じたきめの細かい指導をすることによって、基礎学力の確実な定着及び能力の向上を目指し、さらには学習意欲の向上へとつながる。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 数学科、英語科を中心に少人数指導や T T 指導など生徒一人ひとりに応じたきめの細かい指導を実践研究する。さらに、習熟度別指導のありかたについても実践研究する。 ・ 選択教科では基礎的・発展的な内容による習熟度別授業を実践し研究する。 ・ 数学科・英語科以外の教科においても個に応じた指導方法の工夫を実践研究する。 ・ 夏期休業中に補充的・発展的な内容を取り入れた学習会を開く。 ・ 学力の検証を図る。 ・ 研究の中間まとめをし、研究の成果をホームページ等によって公開し、本事業の普及に努め、外部からの示唆を得る。 |
|--------|---|

| | |
|--------|---|
| 平成16年度 | <p>テーマ 「個に応じた指導における指導方法・指導体制の工夫」 - 基礎基本の確実な定着と学習意欲の向上を目指した適切な評価の工夫</p> <p>研究の見通し 個に応じたきめの細かい指導をすることによって、基礎学力の確実な定着及び発展的学力の向上を目指す。また、個に応じたきめの細かい適切な評価をすることによって、さらに学習意欲の向上へとつながる。</p> <p>研究の内容・方法 ・教科内にとどまらないように全職員で研究を進めていきたい。そこで今年度の研究推進体制を見直し、改善する。 ・全教科について「学力」について再構築し、評価と指導の一体化について研究し、個に応じた指導方法や指導体制の工夫や改善を行う。 ・数学科、英語科を中心に少人数指導やTT指導など生徒一人ひとりに応じたきめの細かい指導や評価を実践研究する。さらに、よりよい習熟度別授業のありかたや発展的な学習の内容についても実践研究する。 ・選択教科では基礎的・発展的な内容を吟味し、よりよい習熟度別指導を実践し研究する。 ・夏期休業中に補充的・発展的な内容を取り入れた学習会を開く ・研究のまとめをし、研究発表会やホームページによって研究の成果を公開する。</p> |
|--------|---|

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

- ・新学力観について全職員の共通理解と全教科への広がりを得、指導と評価の一体化についての共通認識も深まってきたようである。その中で個に応じた指導という観点から学習カードの活用も見られている。
- ・少人数指導などの指導方法の充実が進み、生徒には勉強の内容がよくわかったり、進んで手を挙げたりと意欲的な取り組みをしているようである。また、習熟度別指導を取り入れ、さらに、個に応じた指導が行き届いているようである。このように指導方法も充実し始めている。数学科は2クラスを3つに分割する取り組みをおこなったが、習熟度別指導をするにおいては非常に有効である。英語科は、本年度初めて少人数指導を取り入れたが、コミュニケーションの機会が格段に増え、実践的コミュニケーションの場面が多くなった。1年数学では少人数指導でおこなう授業の方が勉強の内容がよくわかると90%の生徒が答え、まだ少人数指導が実施されていない英語については、75%の生徒が少人数指導で勉強の内容がさらにわかるようになるのではないかと期待している。

- ・ 補足的な内容の学習会を実施したところ、参加した生徒はもちろんのことそうでない生徒も学習会には大いに賛成をしており、個に応じた指導が十分にできたと思われる。例えば3年の数学は8日間の学習会に延べ130名ほどが参加し、教材や内容についてはほとんどの生徒が良かったと評価し、「授業とちがって人数が少なかったので、先生に分かるまで教えてもらえた。」「先生がすぐ来て教えてくれたのでとても良かった。」という声も上がっている。また、教材開発のきっかけにもなり新たな取り組みをすることができた。
- ・ 地域や市教委の協力もあり、今年度初めてボランティアによる学習会を開くことができ、自然な形で生徒の中に入っていただき、成果を得ることができた。
- ・ 3年生が実施した標準学力検査（CRT）によると、「数学的な見方や考え方」「数学的な表現・処理」「英語の表現の能力」の観点について全国と比べ特に得点率が高かった。

2. 今後の課題

- ・ 今年度は校内研究と並列の形で数学科、英語科が中心になって実践をしてきたが、教科内にとどまらないように全職員で研究を進めていきたい。そこで今年度の研究推進体制を見直し改善する。
- ・ 指導と評価の一体化について全教科で研究や実践を重ねてきたが、もう一度「学力」について再構築したい。そのためには、それぞれの教科における基礎基本や学ぶ意欲について問い直し、よりよい指導方法と評価について再検討をし、評価と指導の一体化についての研究を深化させる。また、教科の枠を超えてのTT指導など指導体制や指導方法の工夫や改善に取り組む。
- ・ 今までの研究や実践を生かして、数学科、英語科は少人数指導における人数の均等分割指導と習熟度別指導のバランスを考えた年間指導計画や発展的な学習を取り入れた年間指導計画を作成する。また、習熟度別指導を実践した場合のよりよい適切な評価についても研究する。
- ・ 生徒一人ひとりにきめの細かい指導をするために、学習を支援してくれるスタディーサポートや学習の支援のみならず、パソコン教室の整備などの教育活動全般を支援援助してくれるボランティアの拡大をはかる。
- ・ 少人数指導をおこなうための教室の確保や学習にふさわしい環境作りをする。

学力等把握のための学校としての取組

- ・ 学習に関する意識調査アンケート

| | |
|----|-------------------------------|
| 目的 | 生徒の意識や実態を知り、生徒によりよい指導助言をするため |
| 内容 | 少人数指導についての調査と学習意欲や取り組みについての調査 |
| 時期 | 1月 |
- ・ その他のアンケート

| | |
|----|---|
| 目的 | 生徒の意識や実態を知り、生徒によりよい指導助言をするため |
| 内容 | 指導体制に関する意識調査（対象は生徒と保護者） 学習会に関する意識調査 選択授業に関する意識調査や実態調査 |
| 時期 | 必要に応じて適宜 |
- ・ 標準学力検査（CRT）の実施

| | |
|----|------------------------------|
| 目的 | 生徒の意識や実態を知り、生徒によりよい指導助言をするため |
| 内容 | 全学年、数学と英語 |
| 時期 | 3年生... 12月 1, 2年生... 2月 |
- ・ 神奈川県立公立中学校学習状況調査

| | |
|----|------------------------------|
| 目的 | 生徒の意識や実態を知り、生徒によりよい指導助言をするため |
| 内容 | 2年生 5教科（国・社・数・理・英） |
| 時期 | 2月 |

- ・小田原市学習実態調査
 - 目的 生徒の意識や実態を知り、生徒によりよい指導助言をするため
 - 内容 1年生 2教科(国・数)
 - 時期 1月

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・足柄下地区学力向上推進委員会にて経過報告
 - 日時 平成15年6月10日(火) 9:00~
 - 場所 小田原合同庁舎
- ・足柄上地区指導方法等改善研修会にて情報提供
 - 日時 平成15年10月29日(水) 13:30~
 - 場所 南足柄市立南足柄中学校
- ・足柄下地区指導方法等改善研修会にて情報提供
 - 日時 平成15年11月25日(火) 13:00~
 - 場所 小田原市立鴨宮中学校
 - 対象 足柄下管内の中学校教員
- ・足柄下地区学力向上推進委員会にて経過報告
 - 日時 平成16年1月26日(月) 9:00~
 - 場所 小田原合同庁舎
- ・HPによる情報の発信(現在制作中)
 - <http://www.ed.city.odawara.kanagawa.jp/kids/chuugaku/kamo/index.htm>

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 3学級以下 4~6学級
 7~9学級 10~12学級
 13~15学級 16学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T.Tによる指導
 その他
- 【研究教科】 国語 社会 数学 理科
 外国語 音楽 美術 技術・家庭
 保健体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無